

3. 活動に携わった生活学校メンバーの声

● 仙台市泉ひまわり生活学校

..... 祝前 清美 さん

仮設住宅で暮らす人たちに「少しの間でも悲しみや苦しみを忘れて、楽しみを見出してもらえたら…」そんな思いからスタートした支援活動。

どこに仮設住宅があり、どの仮設住宅に子どもが何人住んでいるかもわからない手探りの中から、行政の窓口に行き、子どもが住んでいる仮設住宅を調査し支援活動をしたと申し込む。

仙台市内では子どもが割と多く住んでいるところは、NPO やパーソナルサポートセンター、企業、ボランティア団体など、専門的な人たちがすでに支援に入っている。あちこちまわって、多賀城市社会福祉協議会復興支えあいセンターで、「多賀城市公園野球場仮設住宅」を紹介いただき、受け入れていただいたときは本当にうれしかった。

～みんなで作って遊んで楽しもう～ をテーマに決め、事前に仮設住宅全戸にチラシを配布。メンバー皆で作り方の勉強会。そして、終了後は毎回途中下車をしてミーティング（反省会）を行う。忙しい中にも充実したアツという間の5か月間だった。回を重ねるたびにみな明るくなり、おしゃべりもはずみ笑顔が増えてきたのが何よりも嬉しく思う。

また、今回の活動から、環境にやさしく、洗剤のいらぬアクリルタワシ「ひまわりの花」を全国の台所に咲かせたいと思う。その思いが、平成 24 年度復興支援・全国生活学校運動として、宮城県から全国に発信することができ、大きな成果につながったことをメンバーとともに喜びあいたいと思う。

..... 星 やす子 さん

子どもの遊具は全部手作りで元気に遊ぶことができました。

短い時間でしたが、大人の方は手作りが好きなようで回を重ねるごとに参加者が増え、辛かった思いを少しでも忘れられたらいいと思いました。

皆さん作っている時は、一生懸命でとても楽しそうでした。

最後に一緒に活動に参加した仲間の皆さんに感謝です。

..... 佐々木 みつほ さん

参加者の中では年配者が多いためか(平均 60 歳代)、編み物を希望する傾向が目立ったように思う。これは、アクリルたわしプロジェクトにつながるのに良いのではないのでしょうか。

皆さんが静かな中でも明るい表情で礼儀正しく前向きの姿勢でいるので、こちらが励まされ、勇気づけられたと思います。

..... 佐藤 やすこ さん

来てくださった皆さんの顔色を見てどことなく、なんとなく楽しく見えたのが、私にとって一番のやりがいでした。

..... 大橋 綾子 さん

ナイロンたわしの作り方、利用法などを話に行ったのですが、にわか仕立ての私たちに気持ち良く接してくれてありがたかった。

一段一段できあがるように、編んでいる人も私たちが笑みがこぼれた。完成した作品、ナイロンたわしなのだ。素晴らしい物である。利用できないくらい見事な出来栄です。一緒に喜びました。

笑うっていいですね。私もお役に立てて嬉しかった。ひと時の慰めでもなったかなと思い、家路につきました。

..... 江澤 美智子 さん

3. 11 以降、何かお手伝いできないかと思うなか、生活学校で活動できることは感謝の一言ですし、仮設住宅の方々とともにホッとするひと時を過ごせるのは幸せですね。

..... 後藤 晶子 さん

会を重ねるたびに、皆さんとも和み、楽しいひと時を過ごさせていただきました。私は、アクリルタワシ作りのお手伝いをさせていただきました。

この日に向けて、何枚もの土台を作って下準備をして参加される方、「今後会う時まで仕上げてくるね」と残り糸を持ち帰られた方、など。

この会を心待ちにしてくださる方がいらっしゃることが嬉しく、次回お会いするのが楽しみです。

..... 齋藤 愛子 さん

- ・時間がある時はなるべく参加して自分も楽しみたい
- ・被災者の気持ちの立場で接するよう努力したい
- ・チラシなど担当していますが作るのも楽しいです
- ・最近、被災者と自然とお話ができ交流がスムーズです。
- ・いろいろなお楽しみがあるので被災者も喜んで参加してすごく嬉しく思います。

..... 佐藤 幸子 さん

会ごとに顔なじみになり、若いお母さん方も参加してくれ、常に笑いありで時間の経つのも忘れるほどでした。小さいお子さんとも久しぶりに遊んで本当に楽しかったです。私たちが皆様から前向きに頑張っているパワーをもらいました。

！！再生へ心ひとつ！！

● 仙台市人来田生活学校

..... 故 佐々木 明子 さん

第1回運営委員会が10月6日宮城県庁で行われた。説明によると、平成23年10月～24年2月までの5か月間、県内5か所の仮設住宅を選定し、①子どもたちへの訪問活動を行う。②支援回数は5カ所 × 5回程度とする。③訪問活動の対象者は園児～小学生までの子ども及びその父母とする。④訪問活動の内容は、読み聞かせ、紙芝居、手作り工作、ゲームなどを行う。⑤訪問活動の実施予定地として、仙台市（2カ所）、岩沼市（1カ所）、登米市（1カ所）、七ヶ浜町（1カ所）とする。といった説明があった。

人来田生活学校では、「あすと長町」に仮設住宅があるので、さっそく担当課である仙台市太白区役所まちづくり推進課を訪ね、仮設住宅に住んでいる子どもの数を聞いたところ、子どもの姿はほとんど見られないといわれた。翌日もう一度区役所を訪ねて、わかる範囲内で調べていただいたところ、小学生が5世帯6名、乳幼児が3世帯3名いたことが判明した。その足で、社会福祉協議会に行き、諸手続きを済ませ、10月26日から訪問活動を実施することとなった。

実施に先立ち、ポスターを貼り、チラシをポスティングし、当日を迎えた。メンバー一同、何人が参加してくれるか不安でいっぱいになり、落ち着かず、玄関まで行ったり来たり…。開会時間が過ぎても、一人も姿を見せてくれず心配になり、事務所に行って職員に相談したところ、隣の椅子にいた仮設住宅のお母さんが気の毒がり、もう少しすると子どもが学校から帰るので、呼んできてあげるといわれ、少し待つことにした。この様子を見ていた仮設住宅の見回りに行くボランティアさんに、高齢者でも良ければ、声をかけてあげると言っていたが、高齢者4人を連れてきてくれた。ほどなく、学校帰りの子ども二人も合流して、私たちはホッと肩の力が抜けた思いをしました。

現在、仮設住宅に233名入居しているが、日中はあまり家にいない人が多い。今後は子どもたちの帰宅時間に合わせて、日時を設定する必要性を強く感じた。

…………… **田中 奈津子さん**

日頃、お会いすることない被災地の皆さま方とお話し出来、子どもたちとも共に遊び、少しでも元気を与えられたかしら？ 逆にこちらが元気をいただいて帰る結果となりました。

こういう企画は陰の力として非常に大切なことだと思います。

…………… **大池 みつこさん**

子どもの集まりが少ない仮設ですが、お孫さんを連れておばあちゃんたちが来てくれました。配布したチラシを見て来てくれる方もいて、十人ぐらいにはなります。若いボランティアの方もたまには居てくれると助かりますが…。

とにかく人数が少なく張合いがなく残念ですが、何度も来てくれる方もいて、気心が知れ、気軽に話せるようになりました。

本日のトランプは大好評でした。

…………… **青木 貴美子さん**

皆さんに喜んでいただけるようプログラムをいろいろ考えています。行事にあった歌をはじめ、紙芝居など、子どもたちばかりでなく付き添いのおばあちゃんたちにも喜んでいただけるようです。魚釣りゲーム、チャンバラ、ボーリング、コマや紙トンボなどを作ったり、一月のトランプゲームも楽しめました。日頃、身体を動かすことの少ない子どもたちも、豆まきなどは大喜びでした。

何度か顔を合わせているうちに、心が通いあい気楽に話せるようになりました。

…………… **前田 一枝さん**

とにかく子どもが少ない。2、3歳の子が2人、小学生が4人ほど。

一回目はやや緊張気味だった子どもの表情も、回を重ねるごとに、うちとけて、すっかり親しみのある可愛らしいしぐさになり、私たちも和まされる。

ゲームが楽しい。参加者はほとんどが大盛り上がり、一気に心が一つになる。支援をする方もされる方も非常に強い絆に結ばれる。たいへん良い経験になった。

…………… **匿名**

今日のボランティア。良い天気で最高の。ゲーム、ボーリングで笑っている。

トランプは小さきも一生懸命。

…………… **匿名**

正直言って何年も子どもの居ない生活ですので、最初は子どもさんの声がうるさく感じました。そのなかで、子どもさんに癒されている自分に気が付きました。来られるお年寄りの方たちも最初は暗い感じがしていました。回を重ねるにつれ、明るくなっているように感じました。

ここにいる間は明るい顔をしているけれど、お家に帰ったらどうなのかと思うと、胸が潰れる思いがします。いつまでもいられる場所ではないので、あとのことを考えると他人事ではなく思われ、逢った時だけでも楽しい思いをしていただきたいと思います。

● **岩沼市生活学校**

…………… **三部 久枝さん**

「仮設住宅訪問活動で子どもたちにお楽しみ会を」

東日本大震災で被災し、仮設住宅で不自由な生活を送る方々に、何かお役にたてられないかと話していた時に、あしたの日本を創る協会と宮城県生活学校連絡協議会より話があり、仮設住宅訪問活動を、昨年10月から毎月第2日曜に「岩沼市里の杜仮設住宅集会所」で実施することにしました。訪問活動として、「お楽しみ会」の予定を立ててチラシを作り、仮設住宅を廻って配りました。

第1回は10月に開催。幼児、小学生、大人17名が参加。みんなで「大きなくりの木の下で 結んで開いて」を歌ってから、テーブルで画用紙とクレヨンで自由にお絵描きをしました。子どもたちの思いが絵に出てびっくりさせられました。ある子の描いた絵の中には、きれいな洋服を着た女の子と、洋風のお家の中においしそうな果物とケーキなどが書かれていて、その側に「がんばろう」のメッセージが入っていました。子どもたちは、家に貼っておくと言っていたので、とても嬉しかったです。

第2回は11月に開催。25名が参加。「げんこつ山のたぬきさん」「ぞうさん」を歌ってから、生活学校で作った食育カルタとりをしました。「あさごはん、かならず食べよう、元気のもと」など、カルタとりを楽しみながら、体にやさしい食べ物のお話などして子どもたちも勉強になったようです。生活学校のメンバーも一緒に盛り上がりました。

第3回は12月に開催。23名が参加。「きよしこの夜」「お正月」を歌ってから、松笠のクリスマスツリー作りをしました。綿で雪を作り、星を飾り付けてきれいに完成しました。

第4回は1月に開催。福笑い（アンパンマン）カルタとり、ぬりえなどして、笑顔で鬼ごっこをして、大人も子どもも仲良く遊びました。また、仮設住宅の方の支援として、全国の生活学校から集められた義援金10万円が送金されましたので、お贈り先を検討した結果、仮設住宅の入居者で、今度の4月に小学校に入学される方への入学祝としてあげました。おもいがけないお祝いということで、心からの感謝をされました。

第5回は2月に開催。豆まき用にお面を作り、豆まきをしたメンバーが鬼になって逃げ回りました。お楽しみ会の最後にはメンバーと子どもたちが一人ひとりタッチして、笑顔で帰りました。

● **栗原市築館生活学校** ※3回の訪問活動時点での声。

…………… **久我 節子さん**

・築館から一番近い仮設住宅を調べる。8月ごろまで栗原市に約300人、南三陸町から避難していたので、何かと関わりをもってきている。

・9月7日、メンバー3人で訪問支援活動を受け入れてもらえるよう、南方仮設住宅に出向く。二つの集会所と340戸の仮設住宅があった。

・南三陸町役場に電話するよう取り次がれたが、電話では、沢山の申し込みがあり困っている。住民も望んでいないようであり、必要のとき電話しますとの事でした。事務所の方に「私たちの生活学校」と「築館生活学校だより」を読んでもらい、理解してもらおうよう話した。先に、築館のNPOの方からも話を通していても無駄なようでした。

・9月10日、NPOお茶ワンプロジェクト（神戸）と築館NPOから、南方仮設住宅に瀬戸物をトラック3台配るので手伝ってくださいとのことで2人で参加。直接住民の声を聞くことができた。自治会が近くにあること、自治会長に直接申し込むことなどを教えてもらった。

第2自治会長が決まり連絡先を知り、さっそく申し入れ、10月23日と決め、場所を決めることができた。10月16日第2自治会長宅に伺い、了解を得て、ビラ120枚を各戸に配ることができた。

・「子育て支援」が掲げてあったので、対象がはっきり決められず、今回、一般の方からは、連絡の仕方が悪いのではと不満が出ている。

・途中から、第1自治会長も決まりましたが、第1、第2自治会全体から出席をみている。

・第1自治会の人は第1集会所を使ってくださいとの要望もあった。

・一応、5回で終わることを告げ、了解を得て、皆に呼びかけてくださいという要望で、区長さんが回覧を回してくれるとのことになりました。皆が楽しみにしてくれているので、2月19日（日）第5回を楽しく終わりたい。

..... **白鳥 落子** さん

子ども対象の支援活動を10月から実施のことで、忙しく計画を練りました。心身ともに大きな衝撃をうけた子どもたちに何をしたら心の癒しになるのか、みんなで迷いながらも3回の支援活動を終えました。歌やダンス、「お茶っこ」などで親近感出てきたようです。

相手の気持ちを思いやり、行動していきたいと思っています。

..... **後藤 静江** さん

はじめで少し戸惑いましたが、あの大津波の恐怖を体験した子どもたちということを念頭に置いて接しました。

サンタクロースは喜んでもらえたかなと思っています。

..... **佐藤 勝子** さん

「未曾有の災害に見舞われたのでは」と、一口に言いますが、本当に口では言い表せない恐怖感を味わったことでしょう。

仮設住宅に入って足を伸ばして休むことができても、心からの安らぎを得ることはまだまだできないのでは？ と思いました。

そのこともあってか集中力が欠けるかな…と思う場面が処々にあり、私の接し方もぎこちなかったし、子どもたちもどう接してよいか解らなかったのかも知れません。

聞いても答えてくれないし、お話ししている最中に寝転んだり、モノを乱暴に扱う子にちょっと戸惑いました。

..... **千葉 照子** さん

歌を歌いました。お手玉遊びをしました、風船つき、「あやとり」もしました。ペットボトルに三分の一ほど水を入れて並べ、ソフトボールでボーリングをしました。この遊びは大好評でした、昼食の時間になってもなかなか止めませんでした。

仮設住宅内にある集会所(自治会館)は、まだ新しくテーブルぐらいしかありませんでした。持参したカーペットを敷いて話し合いました。

集まった子どもたちは、はじめは恥ずかしそうに、緊張した様子でしたが、歌を合唱したり、ゲームをしたりしているうちに子どもらしい雰囲気が生まれ、楽しそうに遊んでいました。お土産のお菓子も喜ばれました。さらに好評だったのがお昼でした。1回目は「はっと汁」、2回目は五月うどん、3回目はカレーライス。「美味しい、美味しい」とどの回でも、2、3杯お替りする子がいました。「大勢で食べると美味しい」と話していました。

年代が違い、異なった地域からの移住での生活の一部を垣間見た感じで、精神的に苦勞されていることに心が痛みました。

一堂に会しての交流が少ない子どもたちにとって、私たちの訪問活動が少しでも慰めになったのであれば…。

私たち従事者の方が元気をもらった活動です。

..... **菅原 英子** さん

10月23日、最初に訪問したときは、本当に驚きました。

子どもたちは素直さがなく、何を聞いても返事がない。大人の私たちの言うこともきかない、暗い感じでした。

でも2回、3回と行っているうちに少しずつ話もしてくれるようになり、訪問して良かったと思っています。

あと2回がんばろうと思います。

..... **三浦 京子** さん

本格的な冬の訪れを感じさせる風の強い12月4日、3回目の訪問が行われた。整然と並んだ真新しい住宅。でも、どこか独特な寂しさを感じずにはいられない光景。

集まってくれた子どもたち、保護者、お年寄りの方々と和気藹々の時間を過ごす。ささやかな食事の後、「ごちそうさま」と食器を流し台までに持ってきてくれた男の子があった。彼は津波で家族を失い、母親と二人暮らしになったのだと聞いた。切ないですね。

またの訪問を約束して会を閉じた。

..... **高橋 とも子** さん

今日は早めのクリスマス会をやります。そこでは、私がサンタクロースに扮しプレゼントを渡す役なので、ドキドキです。

会場の自治会館に着き、準備がまた大変なのです。メンバー、皆で頑張る。

準備が出来たころ元気な声で子どもたちが入ってきました。子ども連れのお母さん、大人の方、みんな笑顔で、会場も準備OK。

私の出番です。

白い大きな袋を担いで入っていくと係の方が、「どちらからお出でですか？」と。「はい。栗原市から参りました。元気な子どもたちの顔が見たいから」。プレゼントを一人ひとりに渡すと、みんな嬉しそうでした。

とても元気な男の子から、私に思いがけないプレゼントを、シールからはがして字の裏にノリがついているのですね。その字を貼って「サンタサン。ありがとう」と私の手に渡してくれたのです。

皆んな元気で良い子どもたちです。

また逢える日を楽しみにしています。

..... 鈴木 弘子 さん

子ども支援活動にご支援、ご助言等大変ありがとうございました。行事を設けることはなかなか大変なことでしたが、でもそれと同時に、私どもも大勢の方々と関わりを持つことができ、楽しい時間を過ごしました。参加された皆さん様です。

主に行事の場所が公共の施設でもあったため、仮設住まいの方々にも参加していただきました。簡単な手づくりものでも、帰りは笑顔のおみやげを置いていってくださる方もありました。

私どもも人に何かを教え、一緒に出来栄を喜び合う、そういう嬉しさも体験させていただきました。仮設住まいの方も、そうでない方も、集まりの中で、少しでも癒されることがあることは、とても良いことと思います。ご支援に感謝申し上げます。

..... 鈴木 洋子 さん

私は、この活動に5回参加させていただきました。子どもたちとの輪に入り、とても楽しく過ごさせていただき、ありがとうございました。

ただ、この活動は、普段の日は2～3歳の子どもさんが多く、お母さんのそばを離れず、ずっとお手伝いもあまりなかったような気がします。

ところが、土日の焼きいもや凧作りは、大勢の子どもたちと、お父さんお母さんも参加してとても良かったです。

焼きいもは、「熱い、おいしい」と皆でフーフー冷ましながらとてもおいしく食べました。また、凧作りも土曜日だったので、大勢の子どもたちが集まり、一人で2つも3つも作ったり、また、いろいろな絵を書き、色とりどりでとても満足した顔で喜んでいました。

外は風が強いので、廊下で凧揚げした子どもがいましたが、高く上がり、満足そうな子どもの顔は忘れません。私も童心に帰り、「揚がった揚がった」と大声を出していました。

そこで思ったことは、この支援活動は土曜日とか日曜日を考えていただきたいと思いました。楽しく終えてとても良かったです。

ありがとうございました。

..... 稲妻 真知子 さん

昨年10月からはじまり、今年2月9日を最後に5回にわたり、行事をして、子どもたちと物作りをして、一緒に遊びました。集中できなくて、勝手に1人で遊ぶ子どもとか、人見知りする子どもとかいろいろです。

曜日の設定を土日にするより多く集まるのでは！

焼きいも、餅つきなどは土曜日にしたので、いっぱい参加してくれました。皆、笑顔で食べていました。ありがとうございました。

4. 仮設住宅の方々の声（アンケートから）（順不同）

- 毎回、違うことを教えてもらえて楽しみに参加しています。思いっきり楽しむことができました。知り合いも増えました。スタッフの方は、ほんとうに親切です。元気をもらっています。続けてもらえば嬉しいです。
- 思いっきり楽しむことができました。プレゼントが良かったです。
- 思い切り楽しむことができました。お好み焼き美味しかったです。プレゼントも良かったです。（子どもお母さんから）
- 折り紙の工作が良かったです。続けて欲しいです。
- 教え方がすごく親切で、楽しく過ごさせていただいております。できたら、手芸や料理も教えて欲しい。
- とても分かりやすく、丁寧に教えていただきました。楽しかったです。折り紙、編み物も教えて欲しい。
- 皆さんの雰囲気がとても良かったです。これからもよろしく願います。
- 教え方とても良く楽しく過ごせました。これからもよろしく願います。
- これからもよろしく願います。
- 手作りの作品をたくさん作れ、とても心が和みました。みなさんとても親切で、良かったです。プレゼントもたくさんいただき、ありがとうございます。
- いろんなことが体験できてよかった。定期的にあると嬉しいです。まだまだ、続けて欲しい。
- 続けて欲しいです。
- 折り紙が楽しかった。パッチワークをしたい。
- 続けて欲しい。
- みんなとられるから良い。
- なかなか外に出ることもないので、とても楽しかった。今度は編み物をしてみたいです。
- とても充実した時間を過ごせたと思います。
- 部屋に閉じこもっているので、外に出る機会になり、また、いろいろ教えてもらい、作るのが楽しになりました。会話なども楽しみにしています。
- 子どもの頃にかえたひとときでした。70年ぶりに子どもにかえた。
- 大人も子どもも大変楽しいです。
- できる限り続けて欲しい。
- たくさんの遊ぶ物とか、とても工夫されていたと思う。
- 子どもたちが喜ぶ顔が微笑ましくて、良かったと思う。
- みなさん一生懸命になって取り組まれておられ、びっくりしました。
- 子どもたちが真剣に取り組んでいる様子が良かった。また企画して欲しい。
- 様々な地域から集まった子どもたちが、仲良く作っている姿はとても微笑ましかったです。自分も童心にかえった気持ちでした。作ったタコでタコあげ大会をやったのは良かった。
- 子どもたち、若いお母さんたちと一緒にあって、笑いの絶えない内容が良かったです。
- 美味しい会食が用意していただき、ありがとうございます。
- 子どもが少ないので、お年寄りも参加されるようPRをされたら良いと思う。
- (豆まきで) 鬼にはじめてなって満足でした。
- 楽しくカルタなどで遊べた。プレゼントがうれしかった。
- 小さな子どもだけでつまらない。友達が来ていない。年の差がある。
- 宣伝が足りなかった。
- 全戸への告知が難しいので、ポスターのほかにも、チラシも多く用意してもらえると、もっと参加者が増えたと思う。